

# 原子力産業新聞

2013年5月23日  
 平成25年(第2671号)  
 毎週木曜日発行  
 購読料1年前前金(消費税、国内送料込)  
 会 員 9,500円(1部220円)  
 非会 員 15,000円(1部350円)  
 (当会会費は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門平塔タワー9階 郵便振替 00150-5-5895  
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス [shinbun@jaif.or.jp](mailto:shinbun@jaif.or.jp)

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

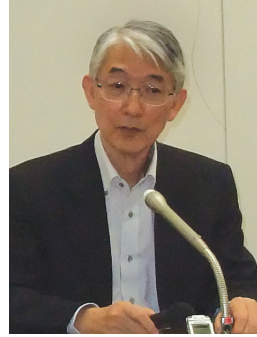
## 敦賀発電所敷地内の破碎帯評価

### 規制委、「活断層」と判断

原子力規制委員会は二十一日の定例会合で、日本原子力発電(原電)の敦賀発電所敷地内の破碎帯の評価について、同委の有識者会合がまとめた「活断層」との評価を了承した。一方、原電は判断根拠などの公開質問状を規制委に提出した。また同社は二十一日会見し、外部評価レビューの中間まとめを公表、評価にあたった専門家らが「現状で活断層の判断はできない」とし、同社の調査を踏まえて検討をする必要があるとの見解を公表した。

### 原電、判断根拠など公開質問状

#### 同社側の「調査踏まえる必要」外部評価



原電・敦賀発電所敷地内破碎帯の評価について、同社の有識者会合による評価報告を了承し、2号機原子炉建屋直下を通るD-1破碎帯については「耐震設計上考慮する活断層」との評価結果。

原電・敦賀発電所敷地内破碎帯の評価について、同社の有識者会合による評価報告を了承し、2号機原子炉建屋直下を通るD-1破碎帯については「耐震設計上考慮する活断層」との評価結果。規制委員会の有識者会合は、旧原子力安全・保安院の意見を受け、二十一年十一月より、敦賀発電所の敷地内破碎帯調査に着手し、十二月に現地調査を行った後、評価報告ドラフト案に対し他サイトの破碎帯調査に係る有識者によるピアレビューも実施した上で、五月十五日に評価書を取りまとめた。会合は、現地調査の事前・事後、ピアレビューも含めて、計七回開かれ、その間、原電にも、説明の機会を与えられてはいたものの、同社は一貫して、規制委側が判断根拠とする事実・データや論理展開の他、審議の進め方にも反論を示し、質問状、意見書などを同委に対し提出してきた。

## 電力システム議論に

### 総合部会「流通段階」に論点

経済産業省の総合資源エネルギー調査会総合部会は二十日、「生産・調達の段階」から「流通段階」に論点を移し、電力システム改革による影響などに議論に入った。まず、資源エネルギー

庁が、これまでの議論を踏まえ、エネルギーの国際的情勢に関する資料を提示し、説明した。原子力関連では、三〇年までに、世界全体の設備容量が、OECD非加盟国を中心に、二五〜一〇〇%増加するとの予測(二年九月や、主要プラントメーカーの国際的な再編・集約の状況が示された。電力システム改革については、現在、政府により①広域系統運用の拡大②電気の小売業参入の全面自由化③法的分離の方式による送配電部門の中立性確保などを柱とする方針が示された。

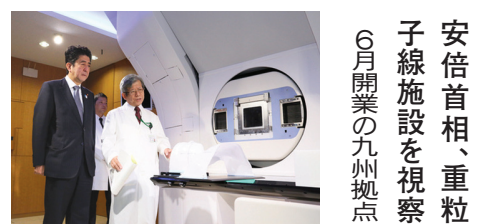
## 検討の方向性を確認

### 汚染水対策 政府委、シナリオ明確に

福島第一原子力発電所事故の汚染水処理問題を検討する政府の専門家委員会は十六日、地下水流入抑制の抜本策検討の方向性を確認した。六月

中目途に改訂の廃止措置の中期ロードマップに反映する。福島第一敷地内の山側から海側に流れ込み、雨水も合わせ、建屋に流入する地下水は、四百立方m/日と想定され、汚染水処理の大きなネック。そのため、早急に検討すべき事項として、地下水流入抑制の抜本策検討の方向性を示したもので、地下水パイパス、海側遮水壁設置など、個々の対策が機能しないリスクも前提に、追加的な対策も含め、時間軸を踏まえた全体計画を策定し、目指

ンチ調査により確認された「G断層」と「R断層」の活動時期、連続性が焦点となっており、同社は六月末までに、これらを中心とする追加調査を終了し、最終報告を提出することをしている。規制委による今回の評価結果は、「新発見が得られれば、見直すこともあり得る」との位置付けだ。



安倍首相は十九日、九州国際重粒子線がんセンター(佐賀県鳥栖市)を訪問し、治療室や加速器室の視察を行った。同センターは六月一日に開業を予定しており、セカンドオピニオン外来や紹介外来を行っていく。七月からは前立腺がん患者の受け入れを開始する。

廃炉実証施設は 檜葉南工業団地 政府が立地を決定 政府は二十一日の廃炉対策推進会議で、本報告内容を確認し、遠隔操作機器・装置の開発・実証施設(モックアップ施設)の立地地点を福島県双葉郡檜葉町の檜葉南工業団地に決定した。

### この一週間の出来事

- 〈16日(木)～22日(水)〉
- ・首相、成長戦略に向け第2弾スピーチ(17日)
- ・日アフリカ資源大臣会合が初開催(18日)
- ・WANO隔年総会がモスクワで開幕(20日)

### 原産新聞の紙面から


- ◇国内ニュース
  - ・原産、世界の原子力動向まとめ(2面)
  - ・放医研、乳がんの臨床試験開始(2面)
  - ・大気・海洋動態研究の課題報告(2面)
  - ・マンスフィールド財団の提言概要(4面)
- ◇海外ニュース
  - ・仏で最終処分場建設の公開討論開始(3面)
  - ・ベルギーでドール3等の再稼働が承認(3面)
  - ・秋庭原子力委員がHLW処分で講演会(3面)

## 安藤ハザマ がスタートしました！！



つくば技術研究所

**株式会社 安藤・間**  
 東京都港区赤坂六丁目1番20号  
 TEL: 03-6234-3600(代表)  
<http://www.ad-hzm.co.jp/>





資料提供: 関西電力株式会社

半世紀をこえる発電所建設やバックエンド分野での技術開発に実績のある **ハザマ** と、放射線先進医療施設の設計施工に定評のある **安藤建設** が合併しました。**安藤ハザマ** は、社員一人ひとりの情熱と時代に先駆けた技術力を掛け合わせ、原子力産業への新たな貢献を目指します。